



ズームイン青春 Just Now 11月3日

県民公園太閤山ランドで国際青年年を記念した若人の祭典「ズームイン青春ジャストナウ」が開催されました。

テレビでおなじみの徳光和夫アナウンサーの言いたい放談や、歌手の伊藤敏博さんのオンステージ、ミスIYYコンテストなど盛り沢山の内容で観衆を楽しませました。



とやま
県広報

1985/12 NO. 203

エッセイ

祖先の故郷を 尋ねる人たち

石崎 直義

今夏七月十日、茨城県結城市武井・木下、同県猿島郡三和などから、二十八名の方々が先祖の郷里を尋ねて、はるばる東砺波郡井口村に来訪された。

その昔、天明二―七年にわたる大飢饉と天保四年以来四年間続いた大飢饉が発生。関東の常陸・下野（茨城・栃木）では、農民が再起に失望して江戸へ脱出し、人口が減少して田畑が荒廃。支配藩は苦悩した。越中でも同様に貧農の人々は非常に窮乏した。かかる社会相を看取して、常陸国稲田の真宗派西念寺

二十一世住職良水は、念仏信仰に篤く、純真・勤勉な北陸農民誘致を打開策として実施した。越中の貧農たちもこれに惹かれて東へ開墾移住していった。併し、加賀藩では農民の出国を厳しく禁じていたため、秘かに脱出していったので「逃散百姓」「走り人」といわれて哀れな汚名を負った。さらに、移住先の先住農民たちは、越中農民が浄土真宗門徒として念仏信仰に篤く、辛抱強く勤勉に働くのを嫌い、「加賀っば（加賀藩領民）」「いっとう」（一向宗信者）「新百姓」と呼んでさげすみ、村民つきあいを拒んだりして苦しめた。このため、移住者たちは定住しても、出身地の国・郡・村の名を明示せず、あいまいな当て字を用いた。

しかるに、明治維新を迎えて四民平等となり、先祖の出身地名を公表しても憚ることが無くなった。ついで明治五年に全国総体の「壬申戸籍」を作成することになり、名前に苗字をつけることになり、先祖の故郷の名を慕って、その村名を姓にした人々が

多かった。先般、井口村を訪ねた人々の曾祖父の中には、出身郷里の井口村の池田・中村（現在川上中）の名を苗字にした人があった。現在、武中地方に池田姓が三十数戸あるという。これを因縁にして今般の来訪となった次第である。

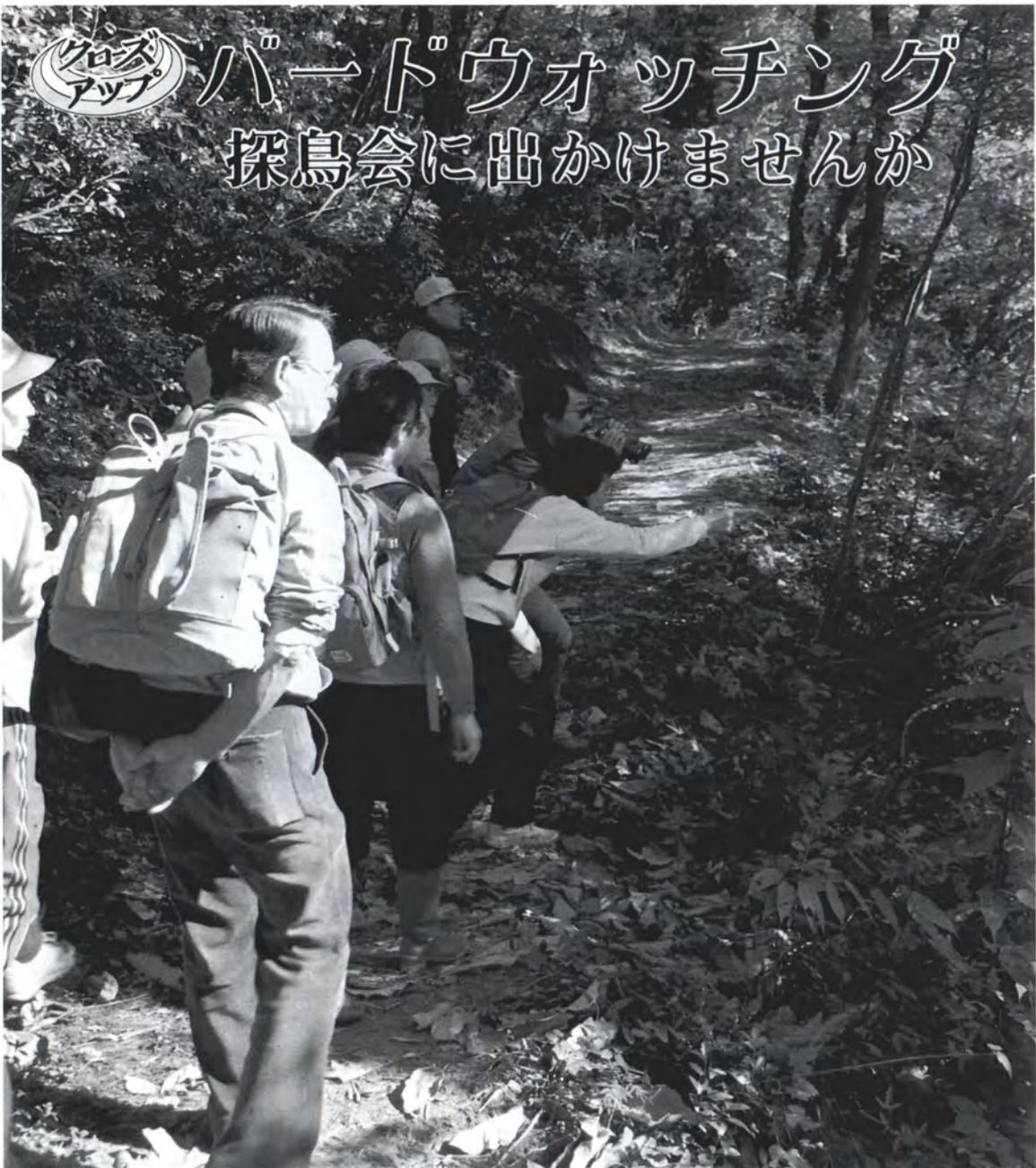
井口村でも、歓迎して目下「村史」編纂中のことと早速いろいろと確認調査に努めたが、先方からの持参の参考資料も少なく、しかも先祖の名が単に何右衛門・何兵衛・何作といった伝えるのみで、僅か二、三家が本家とのつながりが判明したに過ぎず、心残りであった。今後、相互の町村にて資料の探索に努めて、吉報を俟つことになった。このことは、他の町村にも同様の事例がかなり多いようである。私見ながら、現在法律にて閲覧を許されないが「壬申戸籍」の原本にて、解決の手がかりの把握を期待してみたい。むづかしいが一つの課題である。

（越中史壇会副会長）



井口村赤祖父池

バードウォッチング 探鳥会に出かけませんか



十月一日開園した野鳥の園（富山市三ノ熊地内）で十一月三日探鳥会が開かれ、県内の野鳥観察愛好家が多数参加しました。

バードウォッチング（探鳥）に必要なものは、双眼鏡、図鑑、筆記具などですが、鳥を驚かさないうちや自然を汚さない気配りも欠かせません。双眼鏡は、軽くて八倍程度のものが便利です。図鑑は、知らない鳥の判定に使いますが、日頃よく見かける鳥を確実に覚え、その鳥を種類判別のものさしに使います。大きさ、体形、色、鳴き声を覚えておけば、便利です。ノートには何でも記入しましょう。月日、場所、鳥の数、種類、知らない鳥を見た時は、スケッチしたり、色や形などをメモしておき後で図鑑で照合します。準備がととのったら、さあ、出かけましょう。

昭和59年12月～昭和60年11月の主な出来事

月	日	主な出来事	
59.12	7	12月定例県議会開会(～12.19)	
	15	消費生活センターが富山市安住町に移転	
	17	畜産試験場で受精卵移植による双子の和牛が誕生	
	19	情報教育研究協議会から中間報告書提出される	
	21	第2回富山県高等学校生徒等海外派遣団(イギリス・フランス・イタリア)出発(～60.1.5)	
60.1	1	第12回富山県青年海外セミナー(大韓民国)結団壮行式(～1.6)	
	8	中央病院基本構想検討委員会	
	17	専決処分による除雪費追加補正	
	20	国際青年年推進大会	
	23	富山県科学技術会議	
	24	総合雪対策に関する市町村長会議	
	25	総合雪対策に関する関係団体長会議	
	27	県営上市川第2発電所一部営業運転開始	
	2	5 名水等検討委員会	
	17	「雪と人・くらし」シンポジウム	
2	18	高等教育機関整備推進委員会	
	19	財団法人富山沿岸漁業振興公社栽培漁業センター起工式	
	19	第2回富山県緑花推進県民会議で「富山県グリーンプラン」が決まる	
	25	第2回21世紀の博物館をえがく懇話会	
	28	2月定例県議会開会(～3.22)	
	3	23	名水等検討委員会(利き水会)
		26	富山県総合雪対策条例制定
		28	運転教育センター内に交通安全自転車練習コースがオープン
	4	1	富山エフエム放送局が開局
		1	花と緑のテレフォンガイドスタート
10		いきいき富山観光キャンペーン'85スタート	
11		国立高岡短期大学起工式	
19		富山学園竣工式	
25		第36回富山県植樹祭	
28.29		国際青年年(IYY)記念10,000km歩行キャンペーン	
5		7	日中友好富山県民の翼壮行式(～5.13)
		9	財団法人富山県置県百年記念財団「とやま賞」贈呈式
		21	財団法人富山技術開発財団 富山技術交流センター竣工式
6	22	富山県総合開発審議会計画推進部会	
	1	総合体育センター温水プール棟竣工式	
	1	県民会館新装オープン	
	4	第2回県政モニター会議開催	
	6	全国治水大会富山大会	
	7	第1回情報公開懇話会	
	8	薬事研究所定礎式	
	8	とやま国際フォーラム開催	
	11	第3回21世紀の博物館をえがく懇話会	
	13	黒部市で知事のまちなまり・語るつどい	
7	15	ボスタートリエンナーレ・トヤマ'85展開会	
	17	6月定例県議会(～6.28)	
	21	いきいき富山観光と物産まつり	
	27	とやまトレードフェア'85開催	
	1	藤田弘志副知事就任	
	8	東海北陸自動車道福光～砺波間中心抗打式	
	9	井波町で知事のまちなまり・語るつどい開催	
	12	県庁別館起工式	
	14	ブラジルサンパウロ州との友好提携協定締結調印団出発(～7.31)	
	18	ブラジルサンパウロ州と富山県が友好県州締結	
20	第35回全国ナシ研究大会開催		
23	第1回林業試験場整備基本構想検討委員会開催		
28	北アルプス朝日小屋、富山県白馬朝日管理センター		

※5ページへ続く



▲富山学園竣工(60.4.19)



▲北陸の雪を考えるシンポジウム(60.10.15)



▲北信越国民体育大会(60.9.1)

二十一世紀をめざした新しい県づくり

5

59.12
60.11

県民が心から生きがいを感じることでできる活力と温かい心に満ちた美しいふるさとを創造するため、富山県は、二十一世紀に向けて着実な歩みを続けています。

豊かな発展の可能性に恵まれた県は、この可能性を開花させ、実を結ばせるため県民一人ひとりが新しい飛躍への決意をもって新しい県づくりに取り組むことが必要です。

県政の運営についても、県民に開かれた県民本位の県政、先見性に満ちた計画県政の推進が基調となっています。

富山県民総合計画にもとづいた「明日を拓く人づくり」「魅力ある郷土づくり」「活力ある産業づくり」の三大政策の歩みの一年をふり返ってみましょう。

月	日	主な出来事
		一ツ竣工式
8	1	富山国際高校演劇祭開会(～8.4)
	2	第2回情報公開懇話会
	5	八尾中核工業団地へ誘致 国際電気協定書交換式
	6	富山県総合雪対策推進会議開催
	7	富山県海洋総合利用研究会議開催
	7	富山県海域総合利用技術開発モデル調査委員会
	10	第38回県体夏季大会(～8.12)
	12	行政改革検討委員会
	12	魅力あるまちづくり委員会
	13	「生涯スポーツプラン」策定
	14	中国遼寧省スポーツ交流派遣団出発(～8.21)
	16	潜水調査船「しんかい2000」富山新港に寄港
	20	北陸東北新幹線即時着工要求総決起大会開催(東京)
	22	平村・上平村で知事のまちなまり・語るつどい
	23	高度情報シンポジウム開催
	25	国際青年年記念第34回富山県青年大会
	28	'85まちづくりシンポジウム開催
	28	富山県福光町射撃場竣工
9	1	北信越国民体育大会開催される(～9.9)
	2	総合開発審議会計画推進部会
	2	肉用牛改良増殖センター建設用地取得に伴う覚書調印
	3	黒部市で富山県総合防災訓練実施
	7	上市川第2ダム竣工式
	12	第40回国体夏季大会富山県選手団結団壮行式
	12	富山県総合雪対策推進会議開催
	13	生誕100年アルプ展開会(～10.20)
	13	9月定例県議会開会(～9.27)
	22	富山県経済交流促進調査団中国遼寧省へ出発(～10.2)
	28	富山県農業等技術交流促進調査団中国遼寧省へ出発(～10.7)
	30	薬事研究所小杉町に移転し竣工10月1日オープン
	30	白中ダム定礎式
10	1	県民公園野鳥の園開園
	3	青年の翼(西ドイツ・オーストリア) 婦人の翼(西ドイツ・イギリス) 結団壮行式(～10.15)
	5	山岳警備隊20周年記念式、公開訓練
	8	第1回富山県樹祭を頼成の森で開催
	12	富山県公文書センター(仮称) 起工
	14	日本雪水学会秋季大会富山市で開催
	15	北陸の雪を考えるシンポジウム開催
	16	第44回日本公衆衛生学会開催
	17	第40回国体秋季大会結団壮行式
	18	富山県総合雪対策推進会議開催
	19	第2回特産王国とやまフェスティバル開催(～10.20)
	21	産業情報シンポジウム開催
	23	農業試験場果樹試験場竣工式
	23	ハンガリーハイドビハール州副知事来庁
	24	朝日町で知事のまちなまり・語るつどい
	25	一日部長実施
	29	イメージディレクター会議開催
	30	一日庁議実施
	30	第1回富山県総合博物館基本構想策定委員会
	31	第21回全国身体障害者スポーツ大会結団壮行式
	1	第13回花と緑の大会
11	3	国際青年年記念若人の祭典
	15	バイオテクノロジーシンポジウム
	15	大門町で知事のまちなまり・語るつどい
	29	第4回富山県情報公開懇話会

▶県民スポーツ大学校で一流プレーヤーも多数来賓



▲「Y-Y-O-O-O-O」キロ歩行キャンペーン(60.4.28)



富山国際高校演劇祭お別れパーティー(60.8.4)



▲「とやま賞」贈呈式(60.5.9)



▲全国ビーチバレーボール大会(60.9.22)

明日を拓く 人づくり

健康づくり

近年の生活環境の変化から、健康の保持増進や体力の向上を図るためのスポーツ・レクリエーション活動への欲求が高まっています。県では、スポーツ・レクリエーションの振興に積極的に取り組むための長期的総合的見地に立ったプラン、「生涯スポーツプラン」を策定したほか、第6回北信越国民体育大会など全国レベルの競技会を開催しました。

総合体育センターについては、温水プール棟がオープンし、中アリーナ・研修棟の設計も進められています。

また、県民公園大岡山ランドや常願寺川公園等の整備が進んだほか、保健所等での胃がん・肺がんの検診体制の整備、「がん登録システム」についての予備調査の実施など健康づくりに積極的に取り組んでいます。

生涯学習の推進

生涯学習への意欲にこたえ、県民大学校に郷土を学ぶ講座や情報教育に関する講座が開設されました。

また、生徒急増期に対応するため大門高等学校を新設し、来春開校します。また、国立高岡短期大学では学生募集が始まり、地域産業と密着した、実学中心の学科を持ち、一般社会人の生涯学習にも応える短大として期待されていました。

社会教育の推進については、県民

文化の県づくり

心のやすらぎ、潤いを求める県民のニーズはますます強まっています。

県立近代美術館でアジア初の、「第一回世界ポスター・トリエンナーレトヤマ'85」を開催するなど芸術鑑賞機会の提供を行いました。

社会福祉の充実

ボランティア活動の一層の振興を図るため、ボランティア・カレッジの開設、コーディネーターの設置等を行いました。

高齢化社会を背景として、今後人所需要的増大が予想される特別養護老人ホームについては、地域バランスに配慮しつつ整備をすすめています。

障害のある方々に対しては、身体障害者の生活環境の改善、社会参加等を総合的に進めるための事業を行いました。

若者と婦人の力を社会に

今年、「国際青年年」、そしてまた、「国連婦人の十年」の最終年でもあることから、青少年・婦人の社会参加事業が大きく推進されました。

また、国際青年年を記念して富山国際高校演劇祭やシンポジウムを開催しました。

さらに、未来を指向する博物館の基本構想をまとめるため、「富山県民総合博物館基本構想策定委員会」を設置し、検討を始めました。

心ふれあう快適な暮らしの実現

県土美化、そして日本一の花と緑の県を強力に推進していくため「富山県グリーンプラン」をまとめ、これに基づいて、花と緑をつくる、親しむ、育てる、それぞれの活動が行われました。また、今年が「国際森林年」であることに鑑み、第一回富山県育樹祭を開催しました。

また、消費生活の安定向上を図るため消費生活センターにおいて消費者スクールを開設しました。

魅力ある地域づくり

冬期積雪時における生活環境、経済活動を無雪期と同じように確保することは大きな課題です。富山県総合雪対策条例が施行され、雪の克服はもとより雪の積極的な利用まで、「雪に強い県づくり」を目指しています。

また、水資源の活用を図っていくための河川総合開発事業も進んでいます。

生活基盤の充実

快適な生活を営むため、上下水道の整備、雪に強い住宅、良質な住宅

魅力ある郷土づくり

等の普及活動を行っています。また、自然環境の実態把握と計画的な管理により、自然環境の保全に努めました。

総合交通体系の整備

北陸新幹線については、懸案の群馬県のルート問題が解決し、年内にも認可申請されることとなり、財源問題等についての結論を待って認可し着工することとされています。

道路交通については、北陸自動車道の朝日・Cから新潟県境の建設が推進されているほか、東海北陸自動車道の福光・砺波間の中心杭打ちも終了しました。

県内基幹交通網についても、効率的、合理的なものとなるよう着々と整備が進められています。

国際化時代への対応

友好県省を締結した中国遼寧省に「日中友好富山県民の翼」一行が訪

問しました。また、七月十八日（日本時間では十九日）、ブラジルサンパウロ州との間に友好県州を締結しました。

このほか、青年の翼、婦人の翼等の海外派遣や「とやま国際フォーラム」の開催など国際交流事業が進められました。

▲青年・婦人の翼結団式(60.10.3)



▲第一回富山県育樹祭(60.10.8)

▲緑花推進県民会議でグリーンプランをまとめる(60.2.19)



▲日中友好富山県民の翼(60.5.7)



▲東海北陸自動車道福光-砺波間中心杭打式(60.7.8)

▲消費生活センター移転オープン(59.12.15)



▲サンパウロ州と友好県州締結(60.7.18)



▲名水等検討委員会利き水会(60.3.23)



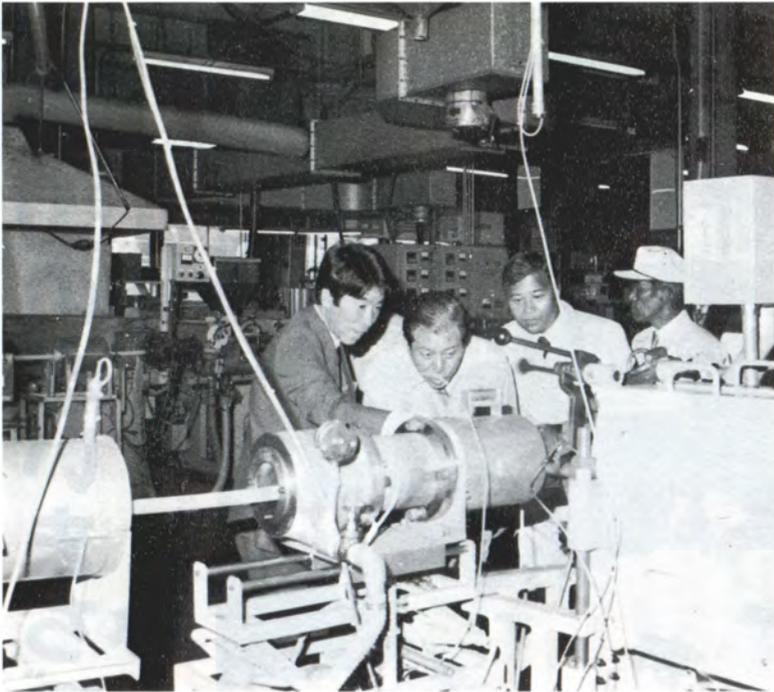
▲技術交流センター
オープン(60.5.21)

▲薬事研究所オープン(60.10.1)



然として厳しいものがありますが、
高齢者特別求人開拓員の配置など
により離職者の再就職の促進と雇用の
安定に努めました。
また、職業訓練の面では、技術革
新、設備の高度化に対応し、メカト
ロニクス関連科目の充実に努めまし
た。

▲知事のまちなまり



▲農業試験所・果樹試験場竣工(60.10.23)
▲県政バス教室

活力ある

産業づくり

技術立県

技術革新は、経済社会を進展させる原動力であり、厳しい内外環境の変化に対応し得るものでなければなりません。

県内の果樹生産の中核となる果樹試験場の整備拡充、薬事研究所の新築移転が行われました。

また、工業技術センターも現在、高岡市二上地区内に建設が進められているほか、高度情報化社会に対応する各種の施策を講じました。

農林水産業の振興

米づくりを中心とした本県の農業は、活力ある県づくりのための基盤的役割を果たしています。ほ場の大型化、関連水路・農道の整備等をすすめるための強い農業の振興を図っています。

水産業では公社方式による栽培漁業センターが完成し、つくり育てる

漁業の推進が一層図られています。また、林道等、森林関連産業の基盤整備も図りました。

創造性豊かな工業の育成

富山テクノポリスの拠点として人と技術の交流の場となる富山技術交流センターが設置されました。

富山八尾中核工業団地も第二期造成工事が進められ先端技術産業の立地が相次いでいます。企業誘致については、市町村等と緊密な連携のもとに一段と強力な推進を図っています。

また、中小企業や地場産業の振興にも努めました。

第三次産業の振興

「観光とやま」のイメージアップに大きな成果をあげている「いきいき富山観山キャンペーン」を引き続き実施しました。

このほか、新たに商店街活性化モデル事業としてコミュニティマート構想策定に取り組んでいます。

雇用の安定

中高年齢者の雇用については、依

プロローグ



タロウは、生まれた

「イメージアップ写真集
「シンフォニーとやま」発行



▲県政モニター会議(60.6.4)

開かれた 県政の展開

新しい県づくりは、県民すべての積極的な参加と協力によって推進されなければなりません。

県政に県民の皆さんの意見や要望を反映しようと、新聞、テレビ、ラジオ等のメディアの積極的活用により幅広い広報活動を展開しました。

また、県政バス教室、知事のまちなまり・語るつどい、県政モニター会議、県政世論調査、一日庁議など多くの公聴活動も実施しました。

情報公開制度については、懇話会を設置し検討を進めているほか公文書センター建設に着工するなど、昭和六十二年実施にむけて取り組みを進めています。

このほか、とやまの心を表現した公募による写真集の製作配付、県ゆかりの著名人のお知恵を拝借するイメージディレクター制度など、全国に誇りうるふるさとづくりのためのイメージアップ作戦を展開しています。

雪害のないまちづくりは みんなの協力で

＝今冬の除雪計画＝

いよいよ本格的な雪の季節となりました。どんなに雪の少ない年でも、平野部には数十センチの雪が積るようになります。県では、過去の豪雪等の教訓を生かすとともに、全国に先がけて制定され、この九月から施行となった「富山県総合雪対策条例」に基づいて、雪対策の様々な施策を推進することとしています。

その中でも雪を克服し、快適な冬を過ごすための最重要点は、道路の除排雪です。今冬も道路除雪計画を策定し、十二月一日から、来年の三月末まで県道路除雪対策本部を設置します。いつでも出動できる体制を整え、一層の除排雪レベルの向上に努めています。

たります。

なお、県の除雪車が出動する基準は、原則として新しい降雪が十センチとなったときです。

適切な道路 ネットワークの確保

市街地内道路や都市間を結ぶ主要な幹線道路については、優先的な除排雪を行います。この際、国・市町村とも連携調整し、除雪路線が適切なネットワーク

今冬の 除雪区間は 二千五百五十五キロ

除雪計画では、雪崩等による除雪不可能区間や県民の日常生活・産業経済活動等に特に支障とならない区間を除き、全て除雪することとしており、今冬は昨年より四キロ増やし二千五百五十五キロとなりました。これは、県管理道路延長の約九十パーセント

成果を生かし四台の導入を行ったものです。

歩道除雪の推進

歩道除雪については、その幅員の狭さや街路樹・電柱など障害物も多く、実施上種々の問題があるため試験施工として実施することとしています。これに

については、国・市町村とも連携し、住民の皆さんの協力も得ながら今冬は昨年より九十三キロ増やし、百六十二キロについて、一冬に三回程度は実施するよう努めることとしています。

特に歩行者の多い駅・バス停学校・保育所やその他公共施設等へ通じる歩道を重点としています。

除雪機械も 整備強化

これら除排雪の水準向上のため、機械力の充実・強化を図っています。除雪トラック・グレーダー・ロータリー除雪車など県保有機械・民間借上機械を含め、常時は四百六十台の確保を、豪雪時にはさらに九百九十四台を追加上げるよう計画しており、弾力的かつ強力な除排雪体制で迅速に対応できるよう備えています。

県保有機械については、ロータリー除雪車・除雪トラック・大型グレーダーや凍結防止剤散布車など十三台（その他更新五台）増強し、計百七十五台となりました。特に大型グレーダーについては、昨年度行った「高効率圧雪除去機械の開発」の研究



として有機的に機能するよう、計画的な除排雪を行うこととしています。

バス路線については優先的に除雪し、停車帯やすれ違いに必要な空間の確保も図ります。

このような道路網確保のためには、早朝除雪を最重点としませんが、日中除排雪についても降雪強度や堆雪状況にあわせ出動時期を適切に判断し、早期除排雪に努めます。

また、除雪トラック・グレーダーやロータリー除雪車などを組合せた、より効果的な除排雪も実施します。

除排雪の 水準もアップ

昨年に比べ、豪雪時における緊急確保路線を六十九キロ増やし、全体で千三百八十キロ（全

体除雪計画延長の六十四パーセント）となりました。さらに、交通量の多い主要都市間道路や主要な駅・医療施設・その他重要な公共施設へ通じる道路については、特別重要路線として最重点対策をとり、豪雪時においても原則として常に、二車線は確保することとしています。

また、拡幅除雪困難な市街地人家連担部の狭い道路の交差点においては、特に運搬排雪の強化に努めることとしており、今冬は昨年より二十六キロ増やし七十二キロを運搬排雪することとしています。

また、急勾配・急カーブ・橋梁・高架橋の取付部及び日陰部など路面凍結によりスリップし交通渋滞が生じる恐れのある区間については、凍結防止剤の散布の強化に努めます。





▲消雪装置

消雪施設の整備も進んでいます

市街地や人家連担部・交差点など、機械除排雪のネックとなっている箇所については、消雪

装置の整備を進めています。本年中に二十五キロ設置し、今冬は総延長二百三十一キロがその効力を発揮することになっていきます。また雪崩多発区間には、スノ

ーシエッドや柵等を設置して、安全な冬期交通の確保に努めています。

新しい除排雪システムも研究中

道路除雪分野については、次の試験実施を行います。

- ヒートパイプ型消雪工の開発
地熱を利用したヒートパイプ型融雪施設を、主要地方道富山高岡線 富山市五福地区の歩道（電停終点・富山大学正門前）で実施します。
- 消融雪用水の循環利用
地下水有効利用の観点から、既設の消雪施設を利用して消融雪水の循環利用を、主要地方道魚津立山線、上市町旭町地内で実施します。

道路最適除排雪システムの研究

道路構造や沿道条件などを勘案した最適の除排雪方法策定をめざし、長期的な除雪機械整備計画とともに、幹線の歩行者ネットワーク確保のための除排雪モデル試行を実施し、その費用

効果等について検証することになっています。

御協力下さい

このように、県では道路除雪体制の強化に努めています。除雪作業を円滑に行うためには、住民の皆さんの積極的な御協力を要です。

- (1) 自宅前道路（特に歩道）の除雪
歩道については、機械除雪の困難な箇所が多くあるため、住民の皆さんの積極的な御協力を願います。
- (2) 地域ぐるみ除排雪
県土木事務所や市町村においては、一斉除排雪日を設け地域ぐるみの共同除排雪を推進します。皆さんの積極的な参加をお願いします。



▲通学児童の安全を確保

道路除雪のSPR お問合わせ

除排雪作業を行うために、通行規制や通行止めを行うことがあります。この道路情報についてはラジオやテレビで随時お知らせします。さらに詳しくは道路交通情報センター（☎〇七六四―三三二―二二三三）までお問い合わせ下さい。

また県の除雪する道路について問題等があれば、所管の県土木事務所の道路維持係までご連絡下さい。

計画的な使用をお願いします。また流雪溝も含め、河川等へ排雪する際には、ゴミ等を混入しないようお願いします。

(6) マイカー使用の自粛

降雪時には、道路事情も悪化します。マイカー使用を自粛し公共交通機関の積極的な利用をお願いします。

冬も安全で快適な暮らし

さて豪雪になると、県民の皆さんの身のまわりでもいろいろな支障が生じてきます。次のことに十分注意して安全で快適な暮らしを工夫しましょう。

- ・ 付近になだれの危険箇所はありませんか。あらかじめ連絡方法や避難方法などを確認しておきましょう。
- ・ 除排雪は計画的に行ってください。特に排雪の方法について隣近所で話し合っておきましょう。

・ 無理のない安全な除排雪作業を心がけましょう。雪おろしや用排水路等への排雪は、危険が



▲流雪溝は計画的に利用しましょう

ついて、地域ぐるみ除排雪が円滑に推進されることを目的として、今年度は十四市町村二十地区において小型除雪機械等の整備を行います。

(3) やめてほしい路上駐停車
除雪作業の最大の障害は路上駐停車です。狭い雪道、除排雪に支障となる路上駐停車は絶対にやめて下さい。

(4) 道路への雪出し

屋根雪等は、道路へ捨てないで下さい。なお、町内会などで一斉に雪おろしをする時はあらかじめ市町村や最寄りの県土木事務所にご連絡下さい。

(5) 流雪溝の計画的な使用
流雪溝は、排雪にはたいへん便利なものですが、しばしば水があふれ床下浸水になるなどトラブルも多発しています。あらかじめ地区相互で話し合うなど

県土木事務所へご連絡ください

土木事務所名	所管区域	連絡先
入善土木事務所	黒部市、入善町、朝日町、宇奈月町	〒939-06 下新川郡入善町上野字八幡11473 ☎0765(72)1133
魚津土木事務所	魚津市、滑川市	〒937 魚津市新宿10の7 ☎0765(24)5311
立山土木事務所	富山市の常願寺川以東、舟橋村、立山町、上市町	〒930-02 中新川郡立山町前沢2359の5 ☎0764(63)1101
富山土木事務所	上記以外の富山市、婦中町、山田村、八尾町、大沢野町、細入村、大山町	〒930 富山市舟橋北町1の11 ☎0764(41)2551
高岡土木事務所	高岡市、新湊市、砺波市、大門町、小杉町、大島町、下村	〒933 高岡市赤祖父211 ☎0766(21)9411
氷見土木事務所	氷見市	〒935 氷見市朝日丘9の24 ☎0766(74)0949
小矢部土木事務所	小矢部市、福岡町	〒932 小矢部市今石動町2の13の1 ☎0766(67)0262
福野土木事務所	城端町、平村、上平村、利賀村、庄川町、井波町、井口村、福野町、福光町	〒939-15 東砺波郡福野町寺家330 ☎0763(22)3524

身近に感じる県政



▶風間耕司さん(中央)



▲辞令交付

一日部長・一日庁議から

県民の、県民による、県民のための県政を進めるために、十月二十五日・三十日の両日、一日部長・一日庁議を実施しました。

これは、県民の皆さんに、広く県の主要施策等の認識と理解を深めていただくとともに、県政に対する意見や提言を出していただき、県政をより身近に知ってもらうことを目的として行ったものです。

一日部長の皆さんは、左下表の方々です。県政に対し幅広く、かつ率直な意見や提言を頂くため、県内の各界各層で活躍され、県政に対して深い関心をもたれ富山県を客観的に見る立場にある皆さんに一日部長となっていました。

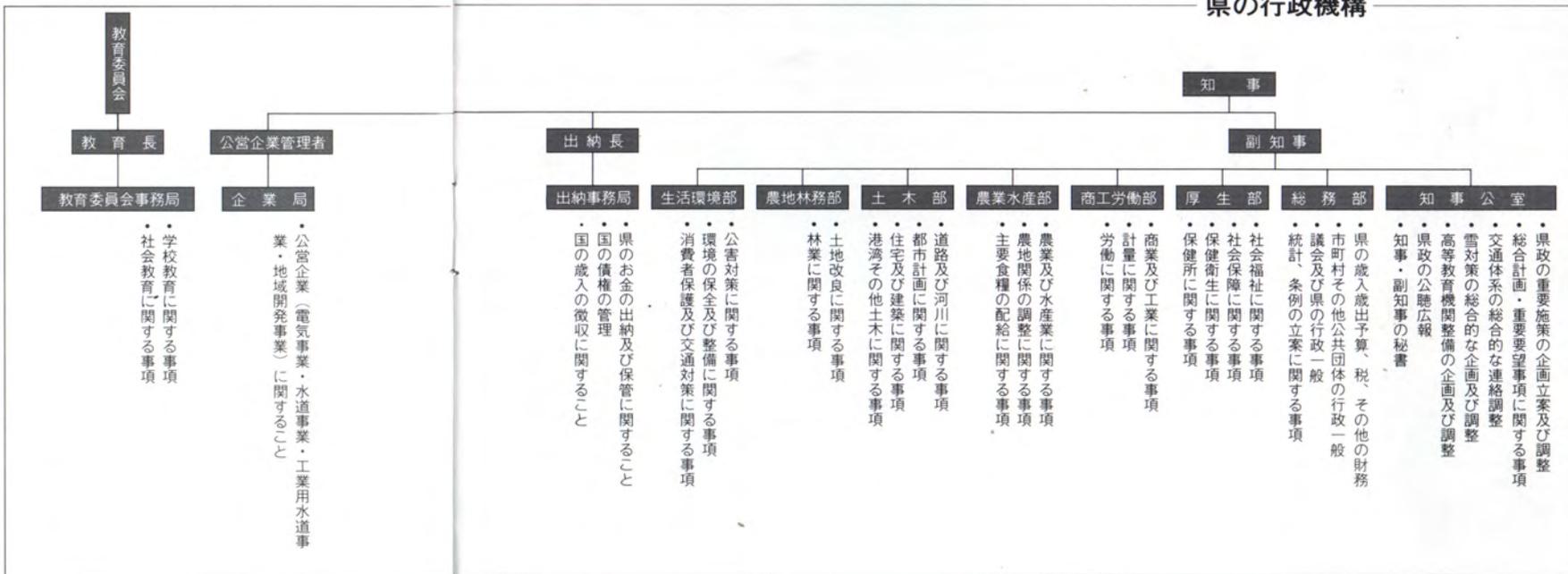


▶リンダ・ワトソンさん、情報教育センターで

一日部長の方々

知事公室長	風間 耕 司	プロカメラマン、イメージアップ写真集編集委員
総務部長	リンダ・ワトソン	宣教師夫人(小杉バプテスト教会)
厚生部長	谷野 美美子	谷野医院(内科、精神科)院長
商工労働部長	犬丸 重 樹	松下電子工業(株) 魚津工場長
農業水産部長	村上 紀 義	富山県農協青年組織協議会委員長
土木部長	安川 涼 子	安川ファッションアート副社長、まちづくりシンポジウムパネラー
農地林務部長	田 辺 嶽 之	(株)北木 代表取締役社長
生活環境部長	前 馬 光 子	県消費生活地方相談員
企業局長	中山 あ け み	県政モニター(富山に居住して4年)
教育長	安 田 寛 一	東京オリンピック出場、長女(加奈子さん)全国中学選抜陸上競技大会100m(1年の部)で、優勝

県の行政機構



知事と一日部長の方々の懇談会「一日庁議」を行いました。一日部長の皆さんからは、県政に対してのさまざまな意見、提言が出されました。この懇談会の内容をお知らせします。

知事 皆さん、今日は、ご出席いただきありがとうございます。いただいた皆さんの忌憚のない意見や感想を聞かせていただき、県政に積極的に反映させていきたいと思っておりますので、気軽に「ご発言」いただきたいと思っております。

風間（知事公室長） いろいろな県の事業を見せていただき、行政を身近に感じました。そこで思うのですが、説明を受けて初めて行政がわかる、身近に感じるというのは、インフォメーションが十分じゃない、いきとどいてないんじゃないかということだと思います。私が雪対策事業の関係で見せていただいた、井波町の流雪溝などは、そのよい例だと思います。県はもっと事業をPRしていくべきだと思いますね。



▲谷野芙美子さん

化してですね。新しい設備・機械を導入してはいかげしょうか。

安川（土木部長） 都市開発、まちづくりという面で思うのですが、区画整理事業等ハードなものだけではなく街並みといったようなソフトの面ももっと重視させるべきだと思います。また、よく立ち退き問題等で、

住民と行政の側とでうまくいかないことがあります。これは、行政が遠くにある、近くに感じられない事があるように思われます。行政は、事業の計画等をもっと住民に広報、PRしていく必要があると思いた。

この他、通勤ラッシュの緩和のための婦中大橋の建設という



▲安田寛一さん

情報教育センターのパーソナルコンピュータなどとても興味を引きました。また、県税事務所では、その金額にびっくりしました。家庭では、せいぜい数万円、数十万円ぐらいの事しか考えないのに、県税事務所は、数百億円という金額を毎日考えているそうです。

は、一人の町中の医師として、大変貴重な体験だったと思います。個人病院では、まだ看護婦さんが不足しています。私は精神科ですので精神科の看護に当たってくれる看護婦さんがもっと欲しいですね。

犬丸（商工労働部長） 私自身工場働いているので貴重な体験をさせていただいたと思います。ただ、県が今、技術立県として、新しい産業の開発や、地場産業の振興などをどのようにしているのか明確にする必要があります。



▲村上紀義さん

また、高志学園、高志リハビリテーション病院を見せていただきました。整形外科病院としての機能が充実していましたが、もっと療育的な面のものも必要だと思いました。



▲前馬光子さん

ことですが、一台一回当り百円の料金を払うとすれば可能だということであれば、それを考えてみるのも悪くはないと思いた。

また、高志学園、高志リハビリテーション病院を見せていただきました。整形外科病院としての機能が充実していましたが、もっと療育的な面のものも必要だと思いました。

また畜産試験場はかなり老朽

田辺（農地林務部長） 部の予算や業務内容の説明を受け、実際に決裁なるものをやらせてもらいました。農地林務というのはいろんなことをやっているんですね。農村の生活汚水は生活環境部ではなく農地林務部の所管だったのは驚きました。

形で処理しておかねばならないものと思います。前馬（生活環境部長） 施設を中心に見せていただきました。特に消費生活センターで所長さんとお話ししましたが、今の時代には、女性の力ももっと必要だと痛感しました。

きていると思います。県もこのようなデザイン・センスのよいパンフレット等の印刷物を作っているいろいろな県政をPRしてはどうでしょうか。

それから、カドミ汚染田の復元についてですが、第一次工事が完了し、現在第二次が工事中です。これも六十七年には完了することになっています。しかし、それが完了してもまだ、千ヘクタールの汚染田が残ることになります。その分についての計画は、未定とのこと。これを行政的に三十年から五十年か

中山（企業局長） 施設等見学して思ったんですが、県営ダム発電、上水道・工業用水道・ゴンドラスキー場等これらはお役所というよりも企業そのものですね。

安田（教育長） 教育の熱心さには感心しました。時代の波に乗った教育（国際化・情報化）

がすすめられていると思います。しかし、コンピューターについては非常に遅れているように思いました。

また、知事は、「健康・スポーツの日本一」への挑戦を唱えられていますが、これが実際の教育現場においては、まだ浸透していないように思います。水橋高校の部活動でも専門教師の配置が十分ではありません。また特別講師についても高齢の方が多く、もっと科学的、高度な技術をもった若い人を確保すべきだと思います。

また、学校施設の再点検も必要ですし、土質を吟味したグラウンドの整備が必要だと思います。やはり、もっと教育の現場、学校からスポーツ県づくりという意識の醸成が必要になると思います。そこからはじめてスポーツが生れてくると思います。

知事 皆さんどうもありがとうございます。ございました。皆さんが共通に感じられた事に、県がやっている仕事をもっと積極的に広報、PRすべきだということがあり



▲安川涼子さん

ますが、この点について他に何かありませんか。

安川 パンフレット類が多すぎないように思います。もっとセンスのよい、おしゃれなポスターなどに訴えるものを作って見ればどうでしょうか。

風間 県民に呼びかけて県民の撮った良い写真フィルムをライブラリーのようなものを作ってそこに保管しておき、必要な時利用するというのはどうでしょうか。

安川 県民の撮った写真を県のパンフレットに載せる、県民の参加ということですね。

作られていますね。ただ、表紙の色、デザインが悪い、これだけで誰も見たくなくなると思っています。

犬丸 パンフレットを作るときは基本的なマニュアルを準備してはどうですか。

谷野 パンフレット類をどこに置くかも、PRといううえで重要だと思います。本屋さんの「富山の本コーナー」に置くのも良いのではないのでしょうか。

中山 とにかく一見見てわかるもの、イメージの良いものを作ってもらいたいですね。

に、センスの悪いものは直していきます。デザインポリシーを明確にしていくな必要があると思うのです。今後、県において検討していきます。

ところで、先程お話しの中にありました、カドミ汚染田の件では、県民の皆さんに大変なご迷惑をおかけしているのですがこの件については何か。

田辺 長期的な話なのですが、汚染田を例えば学校林として活用できないでしょうか。花と緑に親しむという事を教育の中で実践していく場として利用していくんです。



▲田辺謙之さん

村上 あのカドミ米の事件により、これまでの美味い富山米のイメージと実績が打ち砕かれてしまいました。カドミ米事件には終止符を打ってください。

風間 うまい米、うまい魚、それを食べながら立山が見られる富山というのは、富山弁と郷土料理しかないと思うんです。ただで県外から来てそれが食べられるところが無い。残念ですね。県営又は第三セクターでレ



▲中山あけみさん

ストランを経営してはどうでしょうか。

中山 富山は、水がおいしい、米、魚がおいしい、お祭りの料理、すばらしいですよ。いろんな場で紹介してほしいと思います。

知事 それでは、生涯スポーツプランについてはどうでしょうか。

安田 競技力の向上は絶対に必要だと思えます。企業スポーツの弱体を感じるんですが、携わる指導者、優良選手の受け皿となる企業が少ないのでは。受け皿を作ることが二千年国体に向けて大きな課題であると思いま

す。商工労働部長を務められた犬丸さんはどうお感じですか。

犬丸 そうですね、生活基盤からのプランづくりが必要なのは、それと、富山への帰属意識

をどう活用していくかという事でしょう。富山を出て行く人の中にも富山に居たいと思う人がけっこういると思うんですが、この人達をどのようにしていくかということですね。

安田 知事、それでは、六十九年のインターハイ、二千年国体が提唱されていますが、それに伴う施設の整備はどうなっているのでしょうか。

知事 富山市五福周辺の陸上競技場、野球場等の整備は行っています。また、インターハイ開催に間に合うよう大規模運動公園を中心に、各施設を順に整

備していくことにしています。

風間 施設というと日頃感じていた、コンクリートに着せられた、まがいの木のイス・テーブルがありますね。あれは、良くない。子供達には、木のイスやテーブルが朽ちて土に還ることを教えるべきですね。

田辺 私もそう思います。学校の机なども木が良いですね。傷ついたり、穴を空けたりしてもいいじゃないですか。管理ということも大切ですが、それより木というものにもっともっと親しむことの方が大切ではないでしょうか。

風間 富山には、富山の植生にあった樹があると思います。それでふるさとの森を作ってはどうか。また街路樹もそれを植えた方が、もっと富山らしさがでてくるのではないかと思います。

知事 施設についても、いろいろ考えています。新しい施設を作るといことも大事ですが、既存の施設を上手に利用することも大事です。県民会館を改装

し、県民ロビーを県民の皆さんに開放されたスペースとして利用させていただいております。

また、カドミ汚染田の問題にについても、本当に農業をしたい人のためには優良農地にもどさねばならない、そうでない人に対しては、それなりに検討していかなければならないと考えています。街路樹についても適地適木も考慮に入れ、自然に近い形で配置するのが良いでしょう。

今日は、皆さんお忙しいなか貴重な時間をさいていただきありがとうございます。ありがとうございました。

今回、この誌面にご紹介しました他にも、数多く有意義なご意見、ご提言がありました。県はこれらを今後の県政の参考として、よりよい県づくりをすすめていきます。

（※なお、文中、敬称は略させていただきます）



▲犬丸重樹さん

高血圧

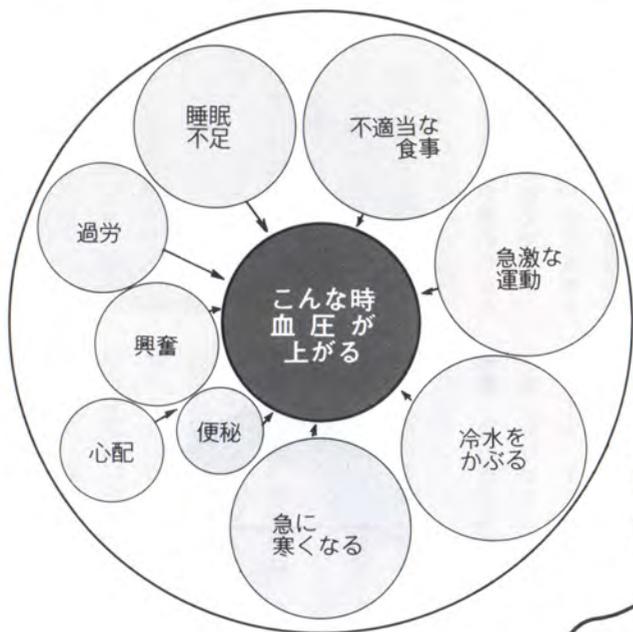
血管の中を流れる血液が、血圧の高いこと自体がこわいから管の壁を押す力を血圧といいますが、血液の量が増えたり、血管の抵抗が増加すると血圧は高くなります。

高血圧はなぜ起こる

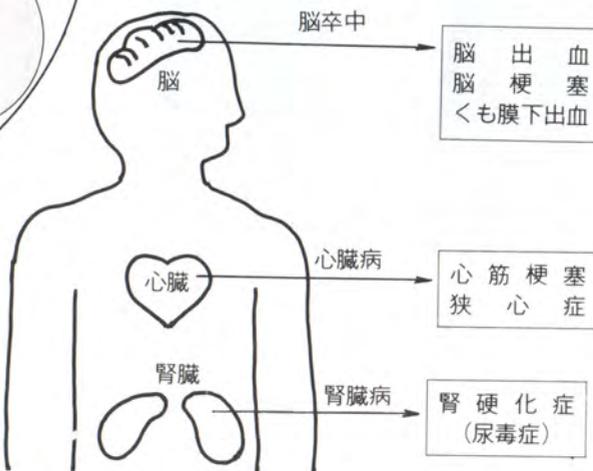
高血圧の八〜九割は、原因ははっきりしない本態性高血圧とよばれるもので、精神的な緊張、不安、寒さ、過労、睡眠不足、アンバランスな食事、食塩のとり過ぎなど、若い頃からの生活習慣がひき起こすといわれています。

高血圧はなぜ危険か

高血圧が目されるのは、血



高血圧から起こる病気



血圧区分

		最大血圧		
		140mmHg未満	140mmHg以上 160mmHg未満	160mmHg以上
最小血圧	90mmHg未満	境界域高血圧	正常血圧	正常血圧
	90mmHg以上 95mmHg未満			
	95mmHg以上	高血圧	境界域高血圧	正常血圧

を知っておくことが必要です。

高血圧といわれたら

日常生活の総点検をしてみると、定期的な医師の指導を受け、必要な場合は早期に治療を開始することが大切です。

クーリング・オフを 意図的に回避する業者

購入を家族等に内緒にするように言うため、解約の意思が固まるのが遅くなり、クーリング・オフ期間が過ぎてからの解約申出となること、また、期間中であってもクーリング・オフの適用を避けるため、一括して支払わせるようにしていることなどから、損料なしの解約は困難な場合が多くなっています。

B子さんは、印鑑(十万円)の契約に始まって、二カ月後には念珠(七十万円)多宝塔(五百四十万円)、高麗人参濃縮液(二百四十万円)、計八百六十万円の契約をしました。しかし、高麗人参を飲むと調子が悪くなることから不信感を抱くようになったものです。

この解約申出に対して業者は、多宝塔と念珠については30%、高麗人参については20%の損料を支払うとともに、印鑑と手をつけた分の高麗人参を買い取ってほしいとの意向を打ち出しました。しかし、勧誘方法に問題があることから話し合いを進めたところ、買取り分も含めて百三十万円余りの損料を払うことで解約となりましたが、業者からの返金は分割払いでされることになりました。

法外な値段で売りつける

この種の商法は人の心の透き間に入り

のらしの 相談室

開運商法にご用心

悩みを持つ人や病弱な人、お年寄などの弱みにつけ込んで、開運につながるという印鑑、念珠、大理石のつば、多宝塔などを売りつける商法が跡を断ちません。

販売の手法

・手相を見るなどしながら家族関係を聞き出し、子や孫に不幸が訪れるので開運の印鑑をつくらなければだめだと勧める。

・先祖の悪業がたたっているので悪いことが起こる。今のうちに多宝塔を買って、その因縁を断ち切らなければならぬといわれた。

・業者の営業所やホテルの一室につれこみ、朝から夜まで長時間にわたって食事もとらせないで説得、契約させられてしまった。

・つばや多宝塔を買ったことは家族に内緒にしなければ効果がないと言われた。
悪霊にとりつかれていると言われて……

巧妙な販売手法はいろいろありますが、A子さんの場合は、夫が病気で寝こんでいるところへ、息子が交通事故に遭うなど心配ごとが重なっていた時、先祖の悪霊がついているために不幸が起こる。大理石のつばを買って祈ることにより悪霊をとり払うことができると勧められ、三百万円のつばと、二百四十万円の墓石を買う約束をしてしまいました。その間、預金額を聞くなどだけお金を持っていくか聞き出し、一度に払うお金がないという、「出しおしみるな、まだあるはずだ、一度に支払わないと折とうでない。今後どのようなことが起きても知らない。」と言われ、これ以上悪いことが起こるのが恐かったので、預金はもちろんのこと、生命保険も解約して支払ったとのことでした。

しかし、金額が大きく病人の支払いもあることから解約の申し出となったものです。

幸いこのケースは、セールスマンが書面を渡していなかったことから、全額返金されました。

クーリング・オフ制度

訪問販売に際し、契約の申込みをした日、あるいは、契約をした日を含めて7日間以内であれば、書面によって、申込みの撤回や契約の解除をすることができます。

クーリング・オフを行った場合、損害賠償とか違約金を支払う必要はありません。
▶クーリング・オフが適用されない場合
・商品を受け取り、代金を全額支払った場合
・使用するとクーリング・オフができなくなると、書面で通知されている法令で指定された消耗品を使用した場合
・乗用車を購入した場合など

(消費生活センター)

込み、不安心をかきたてることから、ついでその手口に引き込まれてしまうようです。ふと気が付いて解約ということになっても業者はなかなか解約に応じてくれません。
本当にお金で幸せが買えるのならよいのですが、安い買物でないだけにエスカレートすると開運どころではなくなくなり、蓄財をはたいた結果不幸にもなりかねません。
わらにもすがりたい気持ちになることは誰にもあります。その弱味につけ込まれないように、一呼吸してから判断したいものです。

10月16日～11月15日

10月16～18日

◎日本公衆衛生学会総会

開かれる

第44回日本公衆衛生学会総会が富山市で行われました。16日、総会会場となった県民会館ホールは、全国から集まった学会員、関係者で埋められました。

また、学会には16の分科会が設けられ、それぞれ研究発表等が行われました。

10月17日

◎秋季国体結団壮行式

第40回国体秋季大会「わかとり国体」(鳥取県)に参加する富山県選手団370人の結団壮行式が県民会館で行われました。

式では、知事から団員に激励の言葉があり、これに応じてバドミントン成年女子出場の広瀬公代さんが、「郷土を代表し、日頃の成果を十分発揮し、精一杯頑張ります。」と団員を代表して決意を述べました。

10月18日

◎富山県総合雪対策推進会議

雪対策に関する基本的事項や総合雪対策基本計画について調査審議する、富山県総合雪対策推進会議が開かれました。

会議では、県が富山県総合雪対策条例に基づいて策定作業を進めている総合雪対策基本計画の素案と60年度の実施計画案が報告され、委員の皆さんから意見をお聞きしました。県は、この意見を参考にしながら計画を策定していきます。

10月19・20日

◎特産王国フェスティバル

第2回特産王国フェスティバルがテクノホールで開かれました。

会場では、特産品の展示、即売のほか、スシの早食いコンテスト、利き酒会などのアトラクションも行われ、訪れた約11万人のお客さんの注目を集めていました。

▼日本公衆衛生学会



10月23日

◎果樹試験場竣工式

魚津市六郎丸にある農業試験場果樹試験場の施設及びほ場の整備が完了し、竣工式が行われました。

この試験場では、果樹優良品種の選定、良質果実の安定多収技術の確立、果樹の生産環境管理技術の確立のため試験研究を続けています。

10月24日

◎知事のまちなまり・

語るつどい

知事のまちなまり・語るつどいが朝日町で行われました。

ボランティアグループとの懇談会や、地元住民と知事とのビーチバレーボール交歓試合などを行い、朝日中学校では、知事と全校生徒848名との合同昼食会が開かれました。

また、老人福祉センターでは、住民代表との「語るつどい」が行われました。

▼まちなまり 中学生との合同昼食会



▶果樹試験場竣工

◎遼寧省農業代表団と「協定書」調印

中国遼寧省孫奇副省長を団長とする中国遼寧省農業代表団一行7名が来県され、「富山県と中国遼寧省との農林水産業友好交流に関する協定」に調印しました。

協定の内容は、富山県と遼寧省との間で、農林水産業に関しての情勢の交換、技術交流、人材養成など広範な交流活動を行うことを定めています。

現在、県では遼寧省から農業技術研修員を受け入れるなど、交流を図っていますが、この協定書の調印により、一層交流が進むこととなります。



▶駅伝競走大会

10月25・30日

◎一日部長・一日庁議

県民の皆さんに県政を知っていただき、そしてまた、いろんな意見、提言をいただくとして一日部長・一日庁議を実施しました。(詳しくは本文16ページをご覧ください。)

10月27日

◎富山を走ろう

富山県駅伝競走大会

第3回富山県駅伝競走大会が開かれました。富山-高岡間のコースに16郡市の精鋭が健脚を競い、男子は富山市が、女子は小矢部市が優勝しました。好天に恵まれたこの大会では、大会新が6(男4、女2)、区間新が40(男19、女21)、区間タイ8(男女、各4)と好タイムを記録しました。

10月29日

◎新しい富山のイメージを

知事とイメージディレクターによる懇談会が東京で開かれました。

イメージディレクター制度とは、県出身者または富山県にゆかりがあり、全国的に活躍している方をイメージディレクターに委嘱して、富山県のイメージアップを図るためのユニークなアイデア、意見、提言を頂くものです。この会の内容については、1月号でお知らせします。

10月30日

◎新しい博物館の構想を

富山県民総合博物館基本構想策定委員会の初会合が開かれました。

会議では、県内外の学術・文化・社会教育の各分野から選ばれた20名の委員がそれぞれの持つ博物館像についての意見を述べました。委員会は次回から基本構想の策定作業に入り、61年度末までに構想をまとめる予定です。

11月15日

◎大門町で知事のまちなまり

知事のまちなまり・語るつどいが大門町で行われました。

福祉会館での懇談会や大門町企業団地では知事と地元の住民の方々との意見交換が行われました。また、知事は、粘土工芸センターや大門高校などの施設を視察しました。

◎北陸新幹線年内にも認可申請

懸案となっていました群馬県のルート問題が解決され、日本鉄道建設公団から運輸省に対し、年内にも工事実施計画の認可申請が提出される見通しとなりました。

情報

スクランブル

住宅

■富山県特別分譲住宅制度

この制度は、住宅に困っている人が持家を購入しやすくするためにつくられた制度です。

この制度が適用されるには富山県住宅供給公社の分譲住宅を購入し、雪に強い住宅仕様であることが要件となりますが、次のような特典があります。

- ① 住宅金融公庫の融資額が割増されず。
- ② 当初の五年間にわたり、公庫の融資残高に年二厘の率を乗じて得

た額の利子補給が受けられます。詳しくは、富山県住宅供給公社（☎七六四一三二一五二三）へお問い合わせください。

■太閤山住宅団地の宅地分譲

小杉町南太閤山地区で宅地分譲を行っています。県民公園太閤山ランドに隣接し、公園や緑地スペースが多く、環境に恵まれた地です。宅地の価格は、一平方メートル当り四万二千九百円です。一区画平均三百三十平方メートルあり、ゆとりのあるマイホームをお求めの方には最適です。

また、有利な融資制度もご利用できます。

詳しいことは、太閤山住宅団地建設事務所（☎七六六一五六一〇二二二）までお問い合わせください。

ご理解を

■人権週間

世界人権宣言が昭和二十三年十二月十日に国連において採択されてから、今年で三十七年になります。この日を我が国では「人権デー」と定め、四日から十日までの一週間を「人権週間」としています。県では人権の正しい理解のため講演と映画の会を開催します。十二月四日 富山県民会館
十二月六日 高岡市役所
いずれも、午後一時三十分からです。ご来場ください。

人権の共存



■国勢調査結果概要

昭和六十年十月一日（火）に実施した第十四回国勢調査における富山県の集計速報は次のとおりです。

人口 一、二八、三六四人
（男 五三八、九四五人
女 五七九、四一九人）
世帯数 三〇〇、四三〇世帯
一世帯当たり人員 三・七二人
人口密度 一平方メートル当たり 二六三・〇人

現代日本美術の展望

—生活造形—

近代美術館
12月15日（日）まで

日本の現代美術の多様な動きを継続的に紹介する長期的企画の5回目。今回は工芸作品からインダストリアル・デザイン、テキスタイルまで、現代生活に関連した作品を幅広く集め、生活の用としての美を紹介しします。



●観覧料

一般	高大生	小中生
700 (550)	500 (350)	300 (200)

() 内は20人以上団体料金

●映画会

12月7日（土）、12月14日（土）
「日本の美術工芸」「志野焼」「芹沢銈介の美の世界」

INTERNATIONAL YOUTH YEAR

メモリアル フェスティバル

参加・開発・平和
青春の輝きを、今——そして未来へ
国際青年年を飾る一大イベント
明日を築く青春のエネルギーを一堂に結集



12月15日（日）午後1時から 教育文化会館ホールで開催

入場無料

各種相談窓口のご案内

県政については

- 県民相談室 富山市新総曲輪1-7(県庁内)
☎(0764)31-4111(代)
31-3131(県民電話)
- 高岡地方県民相談室 高岡市赤祖父211(総合庁舎内)
☎(0766)21-9411
- 魚津地方県民相談室 魚津市新宿10-7(総合庁舎内)
☎(0765)24-5311
- 砺波地方県民相談室 砺波市幸町1-7(総合庁舎内)
☎(0763)33-5151

消費生活については

- 消費生活センター 富山市安住町7-18
安住町第一生命ビル内
☎0764-32-2949
- 消費生活センター高岡支所 高岡市本丸町7-1
本丸会館内
☎0766-25-2777

暴力・サラ金などについては

- 困りごと相談所 警察本部防犯少年課
☎0764-33-8080
 - 覚せい剤・サラ金相談 警察本部生活保安課
☎0764-41-8904
 - 暴力団せり110番 警察本部捜査第二課
☎0764-42-0110
- このほか各警察署でも受け付けています。

国勢調査

12月街頭献血日程

月日曜	場所	時間	月日曜	場所	時間
12/1(日)	黒部市メルシー前	10:00~15:30	12/15(日)	富山西武前	10:00~16:00
3(火)	立山町役場前	10:00~15:30	21(土)	魚津サンプラザ前	10:00~15:30
7(土)	富山駅前	10:00~16:00		富山駅前	10:00~16:00
	高岡駅前	10:00~15:30	22(日)	高岡駅前	10:00~15:30
8(日)	富山市中央通り前	10:00~16:00	28(土)	富山駅前	10:00~16:00
14(土)	富山駅前	10:00~16:00		高岡駅前	10:00~15:30
	高岡駅前	10:00~15:30			

カキーンとホームラン 福光町の木製品



シリーズ⑱ 特産王国 とやま

スポーツと言えば、真先に野球を思い浮かべる人も少なくないでしょう。そしてこの野球と切っても切り離せないのがバットです。

福光町には、現在、八社のバット製造工場があり、全国の五〇〜六〇位のバットを作っています。プロ野球の選手も、そのほとんどのバットづくりは職人芸です。一人前になるまで十〜十五年を要します。粗削り、少年用バットづくりなど、下積的な技能を磨き上げ、軟式・硬式用バットの製造に入ります。プロ野球選手のバットを作る時は、こと



さら慎重になります。まず北海道やアメリカから取り寄せた原木の吟味から始まります。選手の好みに応じたバットを作るため、一本、一本、ていねいに手作りします。長さ、太さ、重さ、グリップの型など、選手それぞれ好みが変わります。研磨するろくろの脇に計量器を置き、削っては計り、計っては削り、これを繰り返します。グリップの具合、全体のバランス、バットの芯の具合、たんねんに調べ調整します。バット一本の出来が、ヒット数、ホームラン数につながる

ので作業は慎重そのものです。ところで、このバット作りですが、近頃は、金属バットの普及により、ピーク時の三分の一程度の需要となりました。そこで、このバット作りの貴重な技術を、他方面にも生かそうと新商品の開発が行われています。特に、最近ブームのゲートボールのスティックやゴルフのウッドは、ヒット商品として積極的に生産されています。

バットの次のヒット商品、ホームラン商品の開発研究にも余念がありません。



薬のとやま 雪のとやま

山口県の方へ帰省しましたところ、不思議な事にお土産が富山とよく似ています。かまぼこ、ふぐ等の海産物、海辺だからでしょうか。

私の友達のお父さんなどは、私が富山から帰ると聞くと、「ああ〇〇さんは、富山のくすりうりのところにいるんじゃないか。」などと、どうも富山のイメージをひと昔前のイメージでとらえている様です。

富山のくすり売りもとても素朴で良いのですが、そういう人達に、富山は、大きな工場もあり、街も大きいし、文化面でもめぐまれていますよと話す、みんなびつくりします。北陸というと、裏日本……、冬……寒い……なまり色の空……つめたい雨……暗い！となるのでしょうか。私も最初は、ほんとうにそう思っていました。富山に来て五年過ぎてはまだ雪がめずらしく、雪かきが子供と一緒に大好きです。

確かに冬は寒くて、道路は悪いし、不自由な事も多くありますが、バスの運転手さんの雪道の上手な運転にはびつくりさせられました。

私の郷里では、雪が一〇センチも積もれば、車はノロノロ、汽車はストップ、パニックです。その点富山はすごいと思います。このすごさはいったいなんだろうと思います。北陸の人は、雪に負けないぞ。こぢからを持っていると思います。少しの雪ぐらいいでは負けない力がどんな小さな子にもある様です。

我が家で富山弁の一番上手な

のは末の男の子(四歳)、毎日元気に遊んでいます。冬になったなら、雪が、彼の心を、強くたくましいものに鍛えてくれるでしょう。

富山市 女性



この県民ひろばでは、県民の皆様からの意見、提言などの投稿をお待ちしております。また、あなたが、今、富山県について思っていること、感じていることなどでもかまいません。とじしお寄せ下さい。

富山県庁広報課
「県民ひろば」の係まで。

12月号	エッセー「祖先の故郷を尋ねる人たち」石崎直義一表2	シリーズ成人病の予防(6)
●	クローズアップ	高血圧 22
も	バードウォッチング探鳥会に出かけませんか-1	くらしの相談室 23
く	二十一世紀をめざした新しい県づくり 2~9	トピックス 24・25
じ	雪害のないまちづくりはみんなの協力で 10~13	情報スクランブル 26・27
	TOYAMA JUST NOW	県民ひろば 28
	「ベニズワイガニ」 14・15	シリーズ特産王国とやま 表3
	身近に感じる県政	
	一日部長、一日庁議から 16~21	

立山山麓
県 営

ゴンドラ

スキー場

オープンします。 12月15日(日)

